

地場産すしでPR

米「伊勢ごころ」、松阪牛など

海外へ販路拡大狙う

伊勢で
J A 重
勢屋の催し
三名古

【三重・伊勢】JA 伊勢は3月上旬、名古屋市中で開かれたイベントで、管内産ブランド米「伊勢ごころ」と松阪牛を使ったすしを、在日大使館や領事館の職員に提供し、地場産品をPRした。海外市場への販路開拓・拡大が狙い。すしは、三重県立相可高校食物調理科の生徒が握った。

である「すし」をテーマに、県産の食材や日本酒、伝統工芸品を海外市場にPRすることを目指す。中部経済連合会と百五銀行が主催。米国や中国など12を超える国・地域の在日大使館や領事館の職員ら約70人が参加し、「松阪牛」や「伊勢ごころ」を握る三重県立相可高校食物調理科の生徒

勢まだい」のすしを、日本酒と共に試食した。

同JAの役職員は、松阪牛やすしに使った管内産「コシヒカリ」のブランド「伊勢ごころ」について参加者に説明をした。坂口正明常務は「日本食に関心の高い外国人に、農畜産物をPRすることで、新たな販路拡大につなげたい」と話した。

同JAは、今後も企業・行政などと連携し、イベントを通して海外市場に地場産農畜産物をアピールしていく。

